

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1192800173		
法人名	有限会社アートライフ		
事業所名	あおぞら宮寺		
所在地	埼玉県入間市宮寺1721-1		
自己評価作成日	令和6年3月15日	評価結果市町村受理日	令和6年5月15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	https://www.kaigokensakuh.mhlw.go.jp/11/index.php
----------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 ケアマネージメントサポートセンター
所在地	埼玉県さいたま市中央区下落合五丁目10番5号
訪問調査日	令和6年3月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

一人ひとりのお客様が、自分らしく自信をもって自律した彩りのある時間を過ごせるように、サポートさせていただきます。環境に恵まれており、公園も近くにあり、お花や畑があって自然に囲まれているなか、散歩に出かけると嬉しそうにされます。散歩のときなど、ご挨拶や世間話をするなど、地域の方々との関係も良好なため、今後も地域交流に力を入れてまいります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

・たとえ短時間であっても一人ひとりと会話をすることを最優先とされ、12枚のアセスメントシートを活用し、利用者が歩んでこられた生活を尊重し、利用者の立場に立った支援に取り組まれている。また研修にも力を入れられ、毎月、動画研修で知識習得に努められている。
 ・運営推進会議は、書面開催で、理念の再確認、活動などが報告されている。今後は参加者を増やし第三者から生の声を聴きたいと取り組み方法を検討されている。
 ・目標達成計画の達成状況については、運営推進会議が開催され、事業所の取り組み状況や振り返りが行われている。今後は第三者から生の声を聴きたいと参加者を増やすことも検討されていること、災害対策では、2階の車椅子の利用者を安全に避難誘導させること及び利用者が不安にならないように危機意識を持った避難訓練を重ねていくことを課題とされ、継続的に取り組まれていることから、目標が達成されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 埼玉県入間市宮寺1721-1	理念は各フロア事務所に掲示し、いつも確認できるようにしている。	「笑顔で心温まるホーム」の理念を意識し、たとえ短時間であっても一人ひとりと会話をする時間を作り「自分をみてほしい」の思いを受け止め、実践に繋がられている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ渦にて、外部との接触は極力さけていたが、散歩途中ですれ違う近隣住民がたとえ、挨拶を交わしている。	目標とされていた「外出」や「買物」を実践され、畑で作業をされている方や庭で草木の世話をされている近所の方と挨拶を交わされるなどの交流がなされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ渦にて外部に出向いての支援は行えていないが、ご入居の相談など、介護の大変さに共感しながら、私たちが経験してきたことをおりませながら支援している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見をサービス向上に活かしている	コロナ対応にて、運営推進会議を開催できていないが、面会もできるようになり、推進会議を行う予定にしています。	運営推進会議は、書面開催で、理念の再確認、活動などが報告されている。今後は対面開催が予定されているが、参加者を増やし第三者からの生の声を聴きたいと取り組み方法を検討されている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市との連携に関しては、主に介護保険課、高齢者支援課、生活支援課との関わりがあり、相談、報告、助言などをいただいている。	事業所からの相談には適切な助言をいただきレクリエーション活動に活かされたり、生活保護担当者の訪問もあり協力関係が築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体及び虐待に関しては、セルフチェックシートを使用し、結果をもとに職員会議にて議題としてあげている。	セルフチェック表を活用し、どうしてそのような言葉が出るのか？を考え、職員間で声を掛け合い、拘束のないケアに取り組まれている。また、毎月虐待や身体拘束の動画研修があり、学びを深められている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	オンライン動画研修にて、繰り返し全ての職員が学び、防止に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を利用して、いる入居者様は複数名おられる。成年後見人様との関係も良好で、様々な話しを聞くこともでき、学びにつながっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居相談時から困っている事、不安、疑問を尋ね、ホームで出来る事出来ない事をご家族様にご協力をいただくことなど説明している。契約時にも契約書、重要事項説明書の読み合わせ時に説明し理解を図っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	11月～12月にかけてご家族様に向けて、アンケート調査を行っています。アトライフ全事業所で行われ、管理者会議において情報の共有も行われている。	利用者や家族からの意見をもとに改善策が検討されているが、家族からの提案でチューブを取り入れた結果、利用者の会話が弾んだり運動をするようになるなど効果が得られている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議のみならず、日常的に意見や要望などの訴えが有り、都度話を聞き対応、反映させている。	日頃から意見・提案が取り上げられやすい環境で、事業所の外堀に施設名を書いた看板があったほうが良いと意見が出され実現されている。また、利用者が飽きないように工夫された口腔体操が取り入れられている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	面談表には職能要件(経験、職能レベル)によって内容が分けられている。マイナスな指摘も含めプラスな声掛けもし良さを伸ばしていく対話をもつ。ご本人の希望や勤務変更なども柔軟に対応している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の向上心、意欲、適性を見ながら上級資格取得支援や研修参加の呼びかけを行っている。新入職者に対して、トレーナートレニー制を導入している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内グループホーム管理者が集まる会合に参加し、情報交換や交流をしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に事前面談を行うが、話しやすい環境作り、話題、口調、自発的に話しやすい雰囲気をつけている。入居後は他ご入居者との関わり方を観察しながら必要に応じ、職員が介入し他者と打ちとけられるよう支援している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時に雰囲気、生活の様子を直に見ていただく為、必ずホーム見学を行なっていただいている。困っていることなど傾聴し、良い関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要なサービスの優先度を常に見極めながら、その方にあったサービスの提供が出来る様になっている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護職員が一方的に『介護』するのではなく、ご入居様の経験、体験、知識などから職員が学ぶ姿勢を大切にしている。それらの言葉に耳を傾け、受容することによって関係性づくりを心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居相談時、入居時、入居後も常に入居が出来たからと、関係性を断ち切らないようこまめに連絡をさせていただいている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族、友人知人からの電話があれば取りついでいる。馴染みの場所については、インターネットを使用している。	ひな祭りの時には、馴染みの和菓子屋に桜餅を買いに行かれたり、手紙を書くことが好きな利用者とは一緒に投函されている。飲酒やタバコなどの習慣がある利用者がおられた際には対応されたこともあり、人や場所との関係が途切れないよう支援をされている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご入居様同士の関わりについては、日々職員間で情報交換をしている。また、カンファレンスでも取り上げることがある。ご入居様同士の関わりが困難な場合は、介護職員が間に入り、支援している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後であっても、困ったことなど相談あればいつでも連絡いただくよう声をかけている。状況をみながら、施設側から電話させていただくこともある。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話や行動から、本人の希望や要望、意向など把握に努めている。また、それらの意向にそう事が難しい場合でも可能な限り、近づけられるよう努めています。	毎日、短時間であっても必ず声掛けしコミュニケーションを図ることに努められている。利用者の「花を育てていたのよ」の声をきっかけに、玄関に花を植え水やりの日課を楽しまれているなど、ちょっとした言葉にも耳を傾けられている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に情報収集を行っているが、入居後情報と実際の生活に大きな違いがある為、入居後も常に情報収集を行っている。ご入居者本人の話から、ご家族も知らないような話がよくあり、ご家族の方にもご報告している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の言動、記録、バイタルサインなどの情報を通して、その人の変化を見落とさないよう観察をしている。また、特記すべきことは常に記録と職員間で情報共有に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	高い目標を設定してもご入居者、介護職員の肉体的、精神的な負担になりかねず、目標達成は難しい。今ある残存能力を伸ばし、計画に反映させていきたい。	「私の生活史シート」を活用したアセスメントから身体状態やできることを確認し利用者の視点に立った個別計画書が作成されている。毎月カンファレンスが行われ、3か月ごとのモニタリングで達成状況を共有されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録には特に、普段と違った言葉、行動、様子は記録し、情報共有をしている。また、往診医、訪問看護などにも報告し、医療観点からの見解なども反映するよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナ感染予防から、買い物は代理で行っているが、来年度からは少しずつ外出できる機会を設ける。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	介護保険課、高齢者支援課、生活支援課、社会福祉協議会、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所などから地域資源情報を得ている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	わかさクリニックより往診に来ていただき、ご入居様の健康管理を行っている。眼科、婦人科以外の科があり、総合的にみていただいている。他科受診が必要な場合は、ご家族に相談している。	24時間対応の往診医の訪問で利用者の健康管理に取り組まれている。往診医からの紹介で他科を受診される場合もあるが、事業所職員が付添われることもあり、安心した医療に繋がられている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師、クリニックには随時連絡相談が出来る体制になっている。些細な事でも、相談し適切なアドバイス、対応に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院加療しても早期退院を医療機関と話し合いながら、ADLの低下を最小限にできるよう努めている。また、入院時のドクターからの説明や退院前のICにて、病院との連携を取り、注意点など聞くようにしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入院相談、契約時に重度化した場合の説明を行っている。 終末期に関しては、以前2名のかたのお看取りをさせていただきました。	重度化や終末期については、日頃から医療関係者から研修を受け、対応方法を学ばれている。看取りの経験もあるが、いざという時に慌てないようにカンファレンスで共有が図られている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や救急対応マニュアルの配置、対応方法については事務所内にて、提示している。事故発生時は、軽微な事故でもわかさクリニックへ報告を入れ、指示に従う体制としている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の訓練を行っているが、火災想定訓練のみとなっている。近年地震が増加している為、消防から地震訓練の指導を受けたいと考えている。消防用品、備蓄も行っている。	消防署の指導のもと避難訓練が実施されているが、消火器置き場がわかりにくいと意見が出され、改善されている。また、2階の車椅子の利用者を安全に避難誘導させること及び利用者が不安にならないように危機意識を持った避難訓練を重ねていくことを課題とされている。	避難訓練には十分取り組まれ、課題も把握されています。今後は、終了後に運営推進会議を開催し、感想や反省点を確認し、より手際よく確実に実行できるよう期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員の言動や対応、ご入居様とのかかわり方についても注意し、常に親しみを持ちつつも、節度ある対応を心掛けている。	「アットホームだけど家族や友達ではない」ことを心にとめ、慣れ合いにならないように敬語で話をするように努められている。また排泄時や入浴時には声掛けに配慮し常に人生の先輩として節度ある対応が取られている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご入居様に合わせた声掛けを行っている。意思疎通が困難な方には、表情や仕草の変化でくみとったり、筆談を行いながら、選択肢の幅が広がるような声掛けを行うよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な生活の流れはあるが、一人一人の体調や調子、様子、精神状態を見ながら、幅をもって対応するよう心掛ける。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入居時に持ち込まれた衣類を、長く着られていらっしゃる方も多くおられる。お化粧をしたいと仰る方や髪染めをしたいと仰るかたもいます。可能な限り希望に添える対応を行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	「自分の力で食べる」日々調子によって変化する中で、その時その時の状況に合わせて、試行錯誤し対応している。食後の食器拭きなど介護計画に組み込んでいる。	ジャガイモやニンジンの皮むきやホットプレートでおやつ作り、誕生日にはホールケーキのデコレーションなども楽しまれている。利用者の状態に合わせてムース食の提供やトロミをかけるなど個々に対応がなされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分摂取量は毎食後記録に残している。食べ方、むせ込み、嚥下の状態などにも普段と違う様子が見られたら記録に残している。食事形態もご本人の能力に合わせて、常食、刻み、ムース食などの対応を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご入居様の個々の状態に応じ、声掛けや介助を行っている。毎食後、義歯を外しブラッシングしている。夕食後には、義歯洗浄剤を使用し、消毒している。訪問歯科で口腔衛生指導も受けている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	24時間の排泄チェック表を利用することで、排泄パターンを把握し、声掛け、トイレ誘導、介助を行っている。オムツは必要以上には使用せず、トイレで排泄できるよう支援している。	状態に応じポータブルトイレを使用したり、オムツにしない支援がなされている。リハビリパンツから布パンツへ変更になるなど一人ひとりに合わせた対応で自立に向けた取り組みが行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘、脱水予防で一日1500cc前後の水分摂取を目標としている。体操などの運動は行っているが、便秘改善に至らない為、下剤を使用されているかたもいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴は日中に行っている。週二回、ご本人の疾患などに留意ながら、ゆったりと入浴していただいている。入浴を好まない方は、タイミングを見計らいながら声掛けし入浴して頂いている。	服を脱ぎたくない、面倒くさいなどの理由で入浴を嫌がる利用者も、日にちを変更したり入浴剤を使用したり拒否なく入浴ができるよう取り組まれ、職員と1対1の入浴を楽しまれている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご入居様個々の生活習慣やペースに合わせて、午睡や休憩が取れるように声をかけている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時の相談内容や、薬の変更などの情報は常に記録や申し送りノートの活用などで共有している。薬の変更や追加処方時は服薬後の様子観察に注意を払っている。変化がある場合は看護師、主治医に連絡し指示を仰いでいる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々にあつて役割、楽しみを生活歴の中から探したり、直接ご本人から聞いたり、ご家族から聞いたりしながら情報収集している。持っている力を最大限発揮できるよう心掛けながら支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ感染予防に関して、買い物、外食、外泊などの外出は行えていませんが、コロナ流行前は積極的に行っていた。少しずつ緩和されてきているので、出来る範囲で外出している。	ドライブで桜や紅葉を見に行かれたり、散歩も行われているが、体力的に困難な利用者が多くなり、室内で歩行訓練やエアロバイクを使った運動に取り組まれることが増えている。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様から「預り金」としてお預かりし、金庫として保管している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	月に数回ご入居様のご家族に手紙を書かれている方がおられ、面会が今できていないのでライン電話を使用したりし、お顔が見える環境を準備し支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	心地よく生活できるよう、季節感を感じる装飾やレクリエーションで作成したものなどを飾っている。空間調整もご入居様が不快にならないよう常にご入居様の様子を観察しながら調整している。	すっきりとした共用空間でソファに腰かけテレビをご覧になったり、職員と一緒に体操や会話を楽しまれるなどゆったりと過ごされている。通路は車いすの利用者もスムーズに通れるような環境が整えられている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースの中で一人になって落ち着くスペースは無いが、フロアの各所に椅子を配意し、そこで一人になったり、ご入居様同士が話をされている空間がある。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	火器や危険物などの持ち込みは禁止している。入居時の居室作りは、できるだけシンプルにしなから、馴染みの物をお持ち込みいただいている。認知症状の進行、身体機能を観察しながら、環境整備を行っている。	居室の入り口には利用者の希望に沿ってひらがなや漢字などで表記された名前が貼られている。また、居室内には外出時の写真や馴染みの家具を持ち込まれ、自分らしい部屋が作られている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置、バリアフリーの設計となっている。各居室前にはご家族が作成された表札を設置している。		

(別紙4(2))

事業所名: あおぞら宮寺

目標達成計画

作成日: 令和6年5月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	救急対応には主に管理者が対応することが多いが、対応出来ない事もある。介護職員が対応しなければならないことがあるが、不安が見られる。	全ての職員が、安心して救急対応・看取りなどの対応ができる環境作りを行う。	・持ち出しリストの作成 ・緊急搬送時に聞かれる内容もまとめシートの作成(介護記録から必要な情報を探すことが大変) ・持ち出しリストのセット ・かかりつけの病院にて、看取りの流れを伝授して頂く。	6ヶ月
2	4	コロナ禍において、運営推進会議が行えていない。 ご家族や第三者から意見を聞く機会が少ない。	ホームに集まったの会議は、コロナの感染状況で出来ない事もあるが、書面での報告、意見収集を行い、ホーム運営に生かす。	2か月毎に書面でホーム報告、意見収集、意見に対して、返答を丁寧に行う。 ホームだけではなく、本部と情報共有をする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。